

松くい虫の防虫対策にご協力を

年々被害が拡大する「松くい虫」、その原因はマツノザイセンチュウ・マツノマダラカミキリとされています。町では、被害にあったアカマツを国・県の事業により春（5月から6月）と冬の期間に伐倒駆除しています。**被害木の伐倒・くん蒸処理を行うため、個人の山林内へ立ち入らせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。**

また、被害が確認されたアカマツについては、順次事業を実施していますが、近年国・県の補助金の削減により被害木を全量駆除することが困難な状況となっています。できるだけ所有者による適正な管理をお願いします。

樹種転換による被害の拡大防止を

松くい虫の被害を受け、今後も被害が拡大するおそれのある山林については、対象山林の立木を全部伐採し、アカマツ以外の樹種へ転換していくことにより、被害の軽減が図られます。事業実施する場合は、補助事業の対象となる場合がありますので、事前に農林課までご相談ください。

山林以外(墓地・庭木など)の

伐倒処理には補助金の利用を

山林以外のアカマツ被害木を伐倒処理した場合は、補助金（事業費の1/2以内（上限10万円））の対象となります。所有者の皆様は早めに処理していただき、被害の拡大防止に御協力をお願いします。

被害の拡大防止と予防対策を

立ち枯れや衰弱したアカマツはカミキリ虫の巣となりますので、適切な処理をお願いします。伐倒した、被害木用くん蒸薬剤（キルパー）、くん蒸用ビニールシート、庭木等のアカマツ予防薬剤（マツグリーン）は、佐久森林組合（TEL 0267-22-8501）で取り扱っていますのでお問い合わせください。



くん蒸用ビニールシート処理後